

**\*学齢期部会・大阪市立此花  
作業指導所見学会報告\***

学齢期部会では、施設見学会ということで、五月十一日(月)の午前十時半〜十二時まで、大阪市立此花作業指導所(通称、此花作業所)へ会員二十一名とともに行ってきました。

此花作業所は、昭和六十年に開所された長い歴史のある作業所で、現在は就労移行支援事業と就労継続支援B型事業を、ともに定員二十名で行っています。

午前十時半からは、所長の入江隆さんが、パソコンを使って、此花作業所の現状を、自立支援法への移行の難しさなども含めてお話しいただきました。一時間程度のお話の後、実際に作業現場を見学することとなりました。

まずは、計量・袋詰めのある現場、その後、さをり織りの現場を見学しました。やはり、

学齢期のお子様をもつお母様方としては、いずれ実習等でお世話になるかもしれない場所ということで、作業の現場はもちろんですが、トイレや更衣室なども真剣に見学されていました。

此花作業所見学会において、保護者の方々が最も関心を寄せたのが、さをり織りの現場でした。小さな部屋では、織機を器用に操り作業を進める男性利用者の方が一人、そして窓際には、さをり織りの靴や小物など、見事な作品がずらりと並んでいました。一同驚くほどの作業とその作品に見入ってしまいました。その場で購入される方や、もっと作品を見たい、作品について教えてほしいと、十二時を過ぎてても残って見ていかれる方もいました。

見学会がおわる頃には、息子や娘が、此花作業所の作業内容と合うだろうかという話なども聞こえてきました。そ

こからは、常に子どもの将来を考えるお母様・お父様方の姿と、得られる情報や知識は積極的に得たいこうという強い意志が感じられました。少しでもその将来の見通しを良くすることが、今後の学齢期部会において進めていくべきことなのだと感じ、微力ではありますがありますが、私もそのお手伝いをしていきたいと感じました。

(事務局 坂本 倫太郎)

**\*就労部会学習会報告\***

去る五月十二日(火)大阪  
市社会福祉センターにて、大阪  
市健康福祉局障害者施策  
部・障害福祉企画担当係長を  
お招きしての学習会を開催し  
ました。就労部会ではこれま  
でに大阪市内の様々な就業支  
援機関担当者との学習会を開  
催してきました。そうした就  
業支援のネットワーク全体像

がどういったものなのかを改めて見直す機会にすべく、また大阪市独自の就業支援事業の内容についても周知を図る趣旨から行政の担当者にご説明いただきました。

内容としては、まず各自治体の施策に影響を与える国の方針等について、数値目標などの計画内容の推移に触れた後、大阪市障害者支援計画・後期計画(平成二十年度〜二十三年度)の就業支援分野について説明されました。また、この四月にスタートしました第二期大阪市障害福祉計画(平成二十一年度〜二十三年度)での福祉施設からの一般就労についての内容についても活発な質疑応答を交えてすめられました。その後そうした総論的な内容を踏まえつつ、具体的に大阪市内で実施されている障害者一般就業支援事業について各論的に丁寧に説明していただき、参加された会員の方からも好評でした。

大阪市内においては就業支援の分野では、他自治体と比較すればすぐく充実しているものの、まだ有効な運用については未知の面があり、実際には「こんな時はどこに相談するのが良いのだろう。」と困ったり、「どうすればいいのかわからない。」と感じておられることも多いでしょう。しかしながら時代の要請とともに、利用する立場としての視点では、就業・生活支援センターを中心として就業支援のネットワークも進化しつつあるので積極的に活用してみたいかがでしょうか。詳細についてはダイジェスト版として、「大阪市内にお住まいの障害のある方のための就業支援のいろいろ」とA3版2面構成でまとめられたものがあります。各区役所やあるいは市育成会事務局でも入手できますので、部会の資料などとも合わせてお問い合わせください。

(事務局 木下 智之)